

職層研修「係長研修」(第11回)

【日時】	令和2年11月10日(火)、令和3年3月4日(木)、12日(金) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	20名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏
【研修内容】	<p><目的> 係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容> (1日目) ① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。 ② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。 ③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。 ④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>(2・3日目) ① 係長の役割 ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。</p>
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の実体験に基づいた講義でとてもわかりやすく、説得力もありました。 ・人権・同和問題について、改めて学ぶことができよかったです。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「裁判所から見た行政」という第三者視点の話がとても参考になりました。 ・訴訟事例についての話があり、具体的でわかりやすかったです。

【えせ同和行為対応】

- ・DVDを使った講義で、具体的な対応方法がイメージしやすかったです。初期対応の大切さは、すべての業務に共通すると思いました。

【特別区制度】

- ・他の市と特別区の違いを学べ、勉強になりました。

【係長の役割】

- ・部下とのコミュニケーションの取り方など、実践的な内容でとても役立ちそうです。
- ・メンタルヘルスケアの講義は、実体験と合致していたため、大変参考になりました。